

第5回 一宮市まち・ひと・しごと創生推進会議 議事録（要旨）

日 時：平成28年2月10日（水）午前10時～11時20分

会 場：一宮市役所 本庁舎11階 1102会議室

出席者：委員17人、代理1人、事務局5人、欠席者2人

傍聴者：3人

- 1・開会
- 2・資料の確認
- 3・定足数の確認と傍聴者の報告
- 4・議事

（1）市民意見提出制度による募集結果について

▽事務局より提出意見の概要と市の考え方を説明【資料1】

◎委員の意見等

- ・何人の方から提出されましたか。

事務局：10名の方から提出がありました。

- ・No.5の意見は教育委員会にもお伝えいただくとよいと思います。
- ・No.13、14のJクオリティについて、擦糸も入るのではないかと思います。また、下請けも入れて目標100社というのも、ハードルが高い感じがします。

事務局：擦糸については確認させていただき、必要であれば追加します。

- ・市場には海外から安い衣料が入ってきているが、いいものは売れている。Jクオリティをさらに進めて、価値の高い製品を作り直接売れるようになれば一宮にとって良いことなので、広めてもらいたい。
- ・No.15について、人材育成と言いつつ実態は一宮外の人間への繊維教育であったりします。それも大事なことですが、地方創生の視点からすると、一宮あるいは尾州のブランドをいかに伝えるかということを通じて、一宮を強めていく作業です。例えば人材育成事業のKPIの数字でいうなら、目に見えない地方創生の作業を見える化するもので、単に数字を増やせばいいのではなく、そこにどういう地域の力を強めるのかという実効性の視点がないといけない。

他のことも同じで、数字が独り歩きしないように、私達は誰がやるのかに注意を払っていかなければならないと思います。

- ・尾州の多くの会社はアパレルや問屋の最終製品に合わせ作っているので、Jクオリティ取得については、そことの擦り合わせになると思います。加工だけを担っているところは必要ならとられるでしょう。販売でも、紳士服を扱う大手の量販店に卸していたり、自社ブランドをもっている会社も多くあります。Jクオリティを取得される数については、このような繊維産業の特殊事情が絡んでくると思います。

- ・No.11の企業誘致の指標の奨励金対象者について、雇用の多様化で非正規が増えています。パートにも短時間や社会保険適用者など形態が多様化しているので、指標の対象者にパートが含まれないのであれば、含まれるものがあれば良いと思います。
- ・指標には市独自に集計できるものや、シティプロモーションでの認知度ランキングのようなものがあります。例えばブランド総合研究所のランキングの中身や今回の内容との整合性をお聞かせください。
事務局：指標は毎年把握可能なものを選びました。全国ブランド調査は毎年公表されていますので活用しました。認知度以外にも項目がありますが、シティプロモーションの結果として、一宮を知ってもらうということで認知度が相応しいと判断しました。

(2) 一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略最終案及び概要案について

▽市民意見提出制度及び内部検討による総合戦略と概要の修正部分を説明

【資料2-1、2-2、2-3】

◎委員の意見等

- ・資料2-1の2枚目にあるP33の修正について、前の記載の方が明確で分かりやすいと思います。できれば、6割が30年という数値で端的に表した方が良いと思います。修正前は少しくどいと思いますが、分かっている人には分かりますが、分からない人に知ってもらうには大事です。
- ・同じところの「需要に応じた…」という部分についても、併せて検討した方がよいと思います。
事務局：簡潔に表現したらどうかという検討の結果でもありますが、内部で再度検討させていただきます。
- ・この部分は修正案で良いかと思います。恐らくこの二つの事柄は違う議論をすべきものであって、ここの中心ではないと思いますので。
- ・総合戦略を決めて達成するため、これを実行する人、頑張る人は誰なのかよく分かりません。作った後はどうなるのですか。
事務局：総合戦略は、方向性を中心にまとめましたが、実現するための具体的な施策・事業については、担当課において予算化が必要なものは議会の承認を得るとともに、この目標に向かって事業を展開します。
- ・資料2-1のP70にある指標の中心市街地人口とはどこの部分を指し示すのですか。
- ・中心市街地と言って、どのように思うのかは、人によって違うと思いますので、簡単なコメントを記載して説明してもらえたらと思います。
事務局：商業施策で中心市街地と定められている部分を言いますが、総合戦略には具体的な記載はありません。できるだけ分かりやすくと思

っておりますので、検討させていただきます。

- ・先ほどの P33 の修正について、修正後の方が上の項目との整合性、見た目からするといいと思いますが、分析と考察と言う点では修正前の方が相応しいと思います。どちらを採るか、よく話し合ってくださいと思います。
- ・この際ですので議題にかかわらず、総合戦略及び創生推進会議全体について、何かご意見があればお願いします。
- ・今回、総合戦略にかかわることで、地方創生のニュースにも関心を持ちましたし、どうすれば一宮が住みやすくなるかにも、より関心をもてるようになりました。これからも関わって見守っていきたいですし、「どうせこれぐらいで終わるんだよね」と斜に構える市民にも、「私たちはやったんだ」と言えるものになりつつあることに感謝しています。最後まで、前向きな皆さんの姿勢に感動しています。

5・その他

今後のスケジュール（検討修正後 2 月 22 日に公表予定、来年度以降の会議予定、委員の任期の確認とお願い）、企画部長からお礼のあいさつ後、閉会。